2014年
紅葉号
No. 22

Nakakita Smile通信

～マナーの処方せん～

発行　中北薬品株式会社　マナーインストラクター部

秋の訪れに寄せて

秋の深まりとともに、木々が赤や黄色に美しく彩られる季節になりました。
紅葉が見ごろを迎えるころ、紅葉狩りに出かけるのも、この季節の楽しみのひとつですね。
狩りをするわけでもないのに、なぜ紅葉狩りと疑問に思ったことはありませんか？
「狩り」とは、元々、鳥獣を捕まえる狩猟（しゅりょう）のことを意味していましたが、ぶどう狩り、きのこ狩りのように、果実や植物を採る意味でも使われるようになりました。平安時代には貴族の間で、草花をながめ愛でることにも用いられるように。そして、色づいた枝を手に取って鑑賞したり、葉を拾い集めたりしたことを「紅葉狩り」というようになりました。また、庶民が行楽として紅葉狩りを楽しむようになったのは、室町時代以降。特に江戸時代には大ブームとなり、お花見のように木の下でお弁当やお酒をいただきながら、宴を楽しんだそうです。時代をこえてなお、さまざまな表情を見せてくれる日本の秋に感謝するとともに、四季の移り変わりを感じられる豊かな心を大切にしていきたいですね。

野山も色づき、おしゃれを楽しむ季節になりましたが、仕事をするうえで求められるのは
身だしなみです。どのように身だしなみを整えればよいのでしょうか？

おしゃれと身だしなみは違うの？

おしゃれは、自分が楽しむもの。それに対し身だしなみは、相手を尊重して整えるものです。自分の身だしなみが、周囲に好感・安心感をもたらしているかどうかが大切になってきます。

第一印象の決め手に！

第一印象は、見た目で判断されやすいもの。表情や身だしなみ、態度などが見た目を決める大きな要素ですが、その中でも、身だしなみは事前に準備できるという利点があります。幅広い年代の方に好感をもっていただくには、控えめであることが大切。特に、髪型は目につきやすいポイントです。ヘアカラーは落ち着いた色目で。また、長い髪はまとめ、お辞儀をしても顔にかからないように整えると、すっきりと明るい印象になります。いつも「見られている」という意識をもって、気を配りたいですね。

香りやにおいにご注意を！

最近は、衣類に香りづけをする商品や、香りを重視した柔軟剤などが多数販売されています。香水にもいえることですが、自分が好きな香りを周囲の方も好むとは限りません。また、汗のにおいや口臭にも気を配りたいものです。これらは、身内や同僚であっても、指摘しづらいもの。「スメルハラスメント」という言葉も、耳にするようになりました。自分が、自分自身に一番厳しくありたいですね。香りやにおいは、患者さまの体調に影響します。医療機関では、無香料・無臭を心がけましょう。

身だしなみを意識することは、仕事に対する姿勢を見つめなおすことにつながります。

隔月発行　次回は１２月発行予定　お楽しみに♪